

平成 29 年度 第 3 回 荒尾市地域公共交通活性化協議会 議事録要旨

日時：平成 29 年 10 月 13 日（金）午前 10 時 30 分～正午

場所：荒尾市役所 42・43 号会議室

出席者：荒尾市地域公共交通活性化協議会委員 30 名（内代理出席者 4 名）

オブザーバー 2 名 ※別紙出席者名簿のとおり

【事務局】

（政策企画課）石川部長、宮脇課長、田中課長補佐兼政策経営室長、平山

（日本工営株式会社）白石課長、許斐

1. 開会

宮脇課長が、開会を宣言し、資料の確認を行った後、欠席委員及び代理出席者の紹介を行った。

2. 会長あいさつ

会長である田上副市長からあいさつがなされた。

- ・前回の会議では、路線バスや乗合タクシーの利用状況などの公共交通に関する現状を説明し、乗合タクシーの運行に関する要望など、課題となっているところの確認を行った上で、地域をはじめ各団体で抱えている問題点や、今後目指すべき公共交通の姿などについて、意見交換を行った。
- ・また、計画策定に当たり、現状分析をさらに詳細に行うため、市民の移動実態や公共交通の利用実態に関するアンケート調査等の実施についても協議していただいたところで、意見を踏まえて各種調査を順次実施している。
- ・本日は、これまで取りまとめた各種調査結果を報告し、課題について整理するとともに、今後策定する計画の基本的な方針をお示しするので、それぞれの立場から、忌憚の無いご意見をいただきたい。

3. 議事

宮脇課長が、委員出席が過半数を超えており、本会議が成立している旨の報告を行った後、設置要綱第 6 条第 2 項により、会長が議長に就任した。

（1）第 2 回会議の議事録要旨(案)について

事務局（平山）が、資料 1-1、資料 1-2、参考資料①及び参考資料②に基づき、第 2 回会議の議事録要旨(案)及び会議における意見等への対応方針について説明を行った。質問や意見等は無く、承認された。

（2）公共交通に関する現状等について

- ①地域の現状及び将来見通しについて
- ②アンケート等の調査結果概要及び課題について

事務局（平山・許斐）が、資料 2-1 及び資料 2-2 に基づき、地域の現状及び将来見通し、並びに調査結果の概要について説明を行った。また、資料 2-3 に基づき、地域公共交通の確保に向けた課題について説明を行った。

（3）計画の基本方針について

事務局（田中課長補佐）が、資料 3 に基づき、現状・課題を踏まえた基本的な方針(案)について説明を行った。

協議の結果、承認された。

《主な質問・意見など》

- - ・非常に周到に調査がされており、調査結果も、計画に結びつくようよくまとめられていると思う。
 - ・前回会議での意見を踏まえ作成された参考資料②（乗合タクシーと路線バスの接続情報）の内容が、乗合タクシーを利用している人に知られていないという気がする。改めて整理してみると、乗合タクシーも乗継ぎの利便性が高いということが分かるため、このような資料を平井地区、府本地区の住民に配布するのが良いのではないかと思う。これまで公共交通を利用したことがない人はその便利さを知らずに自家用車を利用していると考えられ、そのような人に利便性を伝えていくこと（＝モビリティマネジメント）で、公共交通への転換を促せるのではないかと考える。ただバスに乗れと言っても転換は難しいので、利便性や運賃、乗継情報などを地道にカウンセリングしていくことで、経験則上、数%が公共交通に乗り換えるのではないかと考えている。一方、参考資料②で実際の接続状況を見てみると、時間によっては、1 時間程度の空白の時間帯があることも分かるため、その点をダイヤの調整で解消し、さらに利便性を高めてもらいたい。
- 事務局 →乗継情報については、早速周知したい。
（補足：参考資料②には乗継ぎの利便性が高い便のみを記載しているため、1 時間程度の空白が生じているものである。）
- - ・荒尾市においては、通勤・通学が流出超過になっていて、寂しく感じたとともに、荒尾市内の魅力を高めるための対策も必要ではないかと感じた。
 - ・立地適正化計画における中心拠点として荒尾駅周辺と緑ヶ丘地区周辺を設定されており、特に荒尾駅周辺には銀行や郵便局もまだ残っていると思うが、当該地域におけるまちづくり計画のようなものを立てられているのであれば教えていただきたい。
- 事務局 →まちづくりについては市内各地区協議会でも検討されているところだが、荒尾駅周辺については、南新地土地区画整理事業により活性化を図り、県境地域までその効果を波及させていきたいと考えている。
- - ・調査対象者のうち、運転免許保有者の比率を教えてください。
- 事務局 →確認し、後日お答えする。
（補足：全回答者 766 人のうち、運転免許保有者は約 66%であった。性別では、男性が約 83%、女性が約 53%である。）

- ・移動すること自体は目的ではないため、目的となっている趣味やサークル活動をはじめとする行事等をさらに活発にすることで、移動の動機づけになる。そのためには、交通サービスの水準を上げるだけでなく、健康福祉政策と交通政策が連携して、施策に取り組む必要があると思う。また、荒尾市には福祉政策として100円バスが導入されているが、100円という金額で持続可能なのかという疑問もある。
- 事務局 →福祉政策との連携については、情報共有に留まっているところもあるため、今後さらに連携を深めたい。
- 会長 ・アンケートの結果から見えてきた課題については、市の総合計画の中でも反映できるものについては検討を進めたい。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局（宮脇課長）が、資料 4-1 及び資料 4-2 に基づき、今後のスケジュール及び協議体制（分科会・合同協議会）について説明を行った。（合同協議会の構成委員については今後追加等の可能性あり。）

質問や意見等は無く、承認された。

4. その他

宮脇課長が、次回会議を1月上旬に開催し、観光客アンケートなどの結果について報告するとともに、計画の素案について協議していただく予定であることを報告した。また、次回会議まで期間が空くため、議事録の確認は郵送等で行うことを報告した。

5. 閉会

宮脇課長が、閉会を宣言した。